

評価対象年度	平成19年度	施策評価シート		政策	8	施策	20
施策名	20	生涯を豊かに暮らすための健康づくり		施策担当部局	保健福祉部、農林水産部、教育庁		
「宮城の将来ビジョン」における体系	政策名	8	生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	評価担当部局(作成担当課)	保健福祉部(健康推進課)		

施策の目的 (目標とする宮城の姿)	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣の見直しや健康づくりに取り組む県民が増え、メタボリックシンドローム該当者や生活習慣病有病者が減少しています。 生活習慣の改善と検診の受診を率先して行う県民が増え、がんによる死亡率が減少しています。 「食育」への積極的な取組により食に対する理解や関心が高まり、バランスの取れた健全な食生活を実践する県民が増えています。 新型インフルエンザなどの新たな感染症の流行に備えた感染症危機管理体制が構築されています。
その実現のために行う施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> 「みやぎ21健康プラン」の推進による、バランスの取れた食生活・食習慣の実現や運動習慣の普及・定着など、県民の健康づくりの推進 がん予防のための普及啓発及びマンモグラフィ検診など効果的で質の高いがん検診の普及の推進 地域や学校、家庭、職場等との連携・協力による宮城の特性を生かした総合的な食育の推進 保健所や衛生研究所、医療機関などの関係機関が連携した防疫体制や医療提供体制、情報提供体制の構築及び感染症集団発生時に備えた隣県等を含めた広域的な連携体制の整備促進 乳幼児期から高齢期まで、それぞれのライフステージに応じた心の健康づくりを促進する相談、指導体制の整備・充実 乳幼児に対するフッ化物の活用の推進やそれぞれの年代や地域の実情に応じた歯科保健体制の整備促進

事業費 (単位:千円)	年度	平成19年度 (決算(見込)額)	平成20年度 (決算(見込)額)	平成21年度 (決算(見込)額)
	県事業費	359,800	-	-

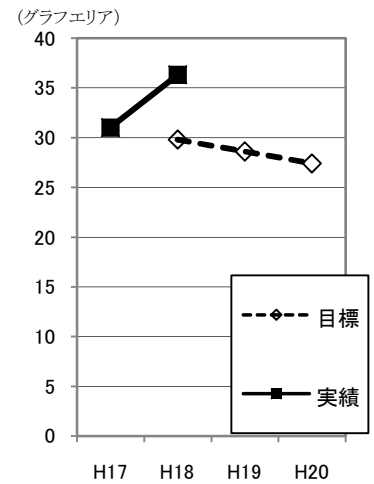
施策に関する社会経済情勢等の状況 (全国・本県の状況、法令・条例・計画等策定の状況等について)	
<p>・国では、医療制度改革の中でその柱の一つとして、予防を重視した生活習慣病予防対策を実施することとし、医療保険者による特定健康診査、特定保健指導等の実施が義務化された。また、平成20年度から施行される都道府県医療費適正化計画や「がん対策基本法」に基づく都道府県がん対策推進計画は、健康増進計画と調和を保つこととされた。宮城県では、平成17年度に行った「みやぎ21健康プラン」の目標の達成状況等についての中間評価結果や国の動向等を踏まえ、県民の生活習慣病の一次予防を重視した対策を推進することとし、特に、メタボリックシンドロームに着目し、「みやぎ21健康プラン」の全面見直しを行い、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群の減少や特定健康診査・特定保健指導実施率等の目標項目を新たに追加した。</p> <p>・新型インフルエンザなどの新興感染症の発生や天然痘などの再興感染症によるテロ行為の恐れなど、感染症危機管理については国際的にもその重要性が指摘されている。</p>	

県民意識調査結果							
調査対象年度 (調査名称)		平成19年度 (平成20年県民意識調査)		平成20年度 (平成21年県民意識調査)		平成21年度 (平成22年県民意識調査)	
この施策 に対する 重視度	重 要	重視の 割合	37.0%	77.5%			
	やや重要		40.5%				
	あまり重要ではない		9.0%				
	重要ではない		1.6%				
	わからない		11.8%				
調査回答者数		1,731					
この施策 に対する 満足度	満 足	満足の 割合	8.4%	42.7%			
	やや満足		34.3%				
	やや不満		21.7%				
	不 満		6.6%				
	わからない		29.0%				
調査回答者数		1,706					
調査結果について		<p>・重視度について、「重視」の割合が77.5%であることから、この施策に対する県民の期待が高いことがうかがえる。</p> <p>・満足度については、「満足」の割合が42.7%であり、「やや不満」を含めた「不満」の割合28.3%を上回っているが、「わからない」と回答した割合が29.0%であることから、事業の周知度がやや低いと思われる。</p> <p>・優先すべき項目として、「がん予防のための普及啓発、マンモグラフィ検診など効果的で質の高いがん検診の普及」が24.5%、「みやぎ21健康プランにもとづく、バランスの取れた食生活・食習慣の実現や運動習慣の普及・定着など、県民の健康づくり」が19.8%、「保健所や衛生研究所、医療機関などが連携した防疫、医療提供、情報提供などの体制づくりと、感染症集団発生に備えた隣県等を含めた広域的な連携体制づくり」が16.7%を占める順序となっている。</p>					

目標指標等の状況

※目標指標等の達成度 A:「目標値を達成している」
 B:「目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と同方向に推移している、又は現状維持している」
 C:「目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と逆方向に推移している」
 N:「現状値が把握できず、判定できない」

目標指標等名(下段:説明)	評価対象年度	初期値	H19	H20	H21
1-1 肥満者の割合(30歳以上の男性)(単位:%) 「県民健康・栄養調査」の結果に基づくBMI=25以上の割合	指標測定年度	H17	H18	H19	H20
	目標値(a)	-	29.8	28.6	27.4
	実績値(b)	31.0	36.3	-	-
	達成(進捗)率(b)/(a)	-	82%	-	-
	達成度	-	C	-	-

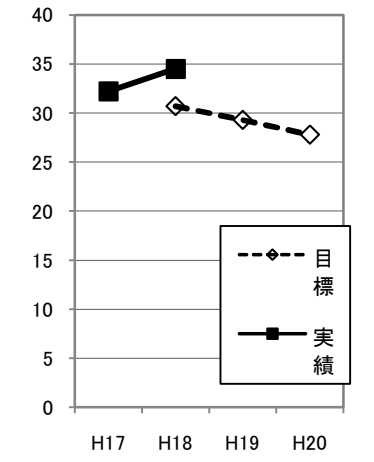


目標値の設定根拠
 本県では、肥満者(BMI=25以上)の割合が増加する30歳代以降を対象に取組みを進め、平成22年度を目標年度に、全国平均(25%以下)を目指すもの。

実績値の分析
 ◇初期値については、アンケート調査による自己申告値であり、平成18年度は実測値による。「みやぎ21健康プラン」は目標年度(平成22年度)における達成状況を調査し評価することとしているため、各年度毎の実績値は把握できない。◇初期値は仙台市を除く値となっている。

全国平均値や近隣他県等との比較
 ◇直近の全国平均値(平成17年国民健康・栄養調査 30代以降)は29.5%である。
 ◇健康日本21中間評価(平成16年 20-60代)は29.0%である。

目標指標等名(下段:説明)	評価対象年度	初期値	H19	H20	H21
1-2 肥満者の割合(40歳以上の女性)(単位:%) 「県民健康・栄養調査」の結果に基づくBMI=25以上の割合	指標測定年度	H17	H18	H19	H20
	目標値(a)	-	30.7	29.3	27.8
	実績値(b)	32.2	34.5	-	-
	達成(進捗)率(b)/(a)	-	89%	-	-
	達成度	-	C	-	-

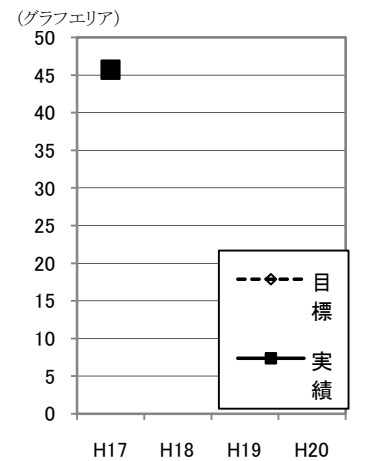


目標値の設定根拠
 本県では、肥満者(BMI=25以上)の割合が増加する40歳代以降を対象に取組みをすすめ、平成22年度を目標年度に、全国平均(25%以下)を目指すもの。

実績値の分析
 ◇初期値については、アンケート調査による自己申告値であり、平成18年度は実測値による。「みやぎ21健康プラン」は目標年度(平成22年度)における達成状況を調査し評価することとしているため、各年度毎の実績値は把握できない。◇初期値は仙台市を除く値となっている。

全国平均値や近隣他県等との比較
 ◇直近の全国平均値(平成17国民健康・栄養調査 40代以降)は24.6%である。◇健康日本21中間評価(平成16 40-60代)は25.2%である。

目標指標等名(下段:説明)	評価対象年度	初期値	H19	H20	H21
2-1 がん検診受診率(胃がん)(単位:%) 「県民健康・栄養調査」の結果に基づく割合	指標測定年度	H17	H18	H19	H20
	目標値(a)	-	-	-	-
	実績値(b)	45.7	-	-	-
	達成(進捗)率(b)/(a)	-	-	-	-
	達成度	-	N	-	-

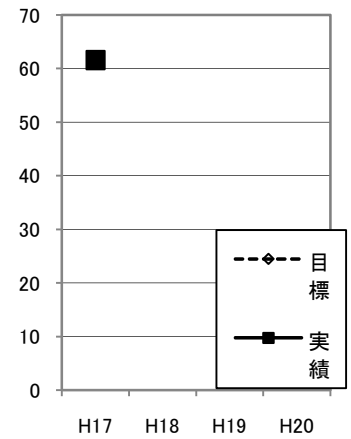


目標値の設定根拠
 経年の健康診査受診率の伸びを考慮し、平成22年度を目標(70%以上)に設定しているもの。

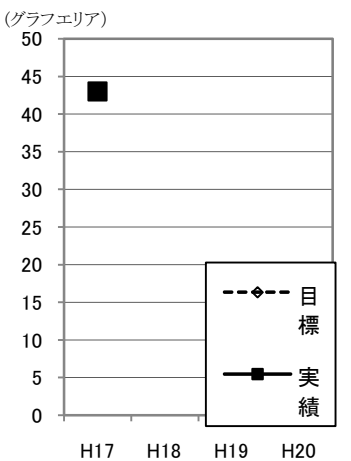
実績値の分析
 「みやぎ21健康プラン」は目標年度(平成22年度)における達成状況を調査し評価することとしているため、各年度毎の実績値は把握できない。

全国平均値や近隣他県等との比較
 全国では、受診者数を目標指標としているため、比較が困難である。

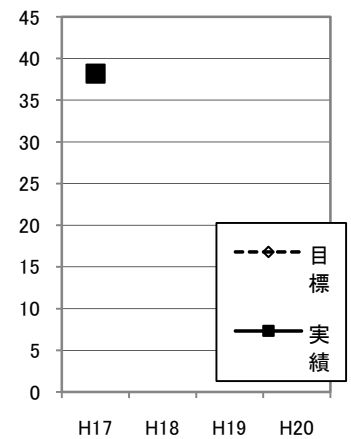
目標指標等名(下段:説明)		評価対象年度	初期値	H19	H20	H21
2-2	がん検診受診率(肺がん)(単位:%)	指標測定年度	H17	H18	H19	H20
		目標値(a)	-	-	-	-
	「県民健康・栄養調査」の結果に基づく割合	実績値(b)	61.6	-	-	-
		達成(進捗)率(b)/(a)	-	-	-	-
		達成度	-	N	-	-
目標値の設定根拠	経年の健康診査受診率の伸びを考慮し、平成22年度を目標(70%以上)に設定しているもの。					
実績値の分析	「みやぎ21健康プラン」は目標年度(平成22年度)における達成状況を調査し評価することとしているため、各年度毎の実績値は把握できない。					
全国平均値や近隣他県等との比較	全国では、受診者数を目標指標としているため、比較が困難である。					



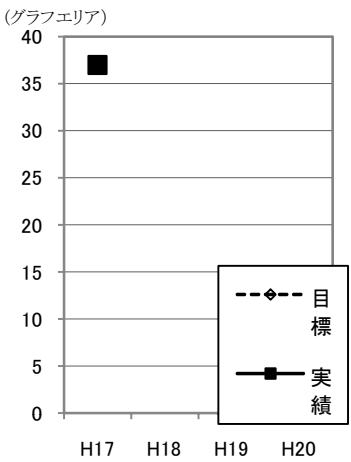
目標指標等名(下段:説明)		評価対象年度	初期値	H19	H20	H21
2-3	がん検診受診率(大腸がん)(単位:%)	指標測定年度	H17	H18	H19	H20
		目標値(a)	-	-	-	-
	「県民健康・栄養調査」の結果に基づく割合	実績値(b)	43.0	-	-	-
		達成(進捗)率(b)/(a)	-	-	-	-
		達成度	-	N	-	-
目標値の設定根拠	◇経年の健康診査受診率の伸びを考慮し、平成22年度を目標(70%以上)に設定しているもの。 ◇宮城県がん対策推進計画の策定により、取組を強化していくことから目標値の変更を行った。					
実績値の分析	「みやぎ21健康プラン」は目標年度(平成22年度)における達成状況を調査し評価することとしているため、各年度毎の実績値は把握できない。					
全国平均値や近隣他県等との比較	全国では、受診者数を目標指標としているため、比較が困難である。					



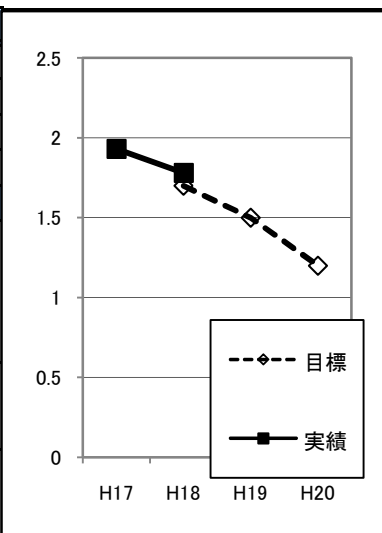
目標指標等名(下段:説明)		評価対象年度	初期値	H19	H20	H21
2-4	がん検診受診率(子宮がん)(単位:%)	指標測定年度	H17	H18	H19	H20
		目標値(a)	-	-	-	-
	「県民健康・栄養調査」の結果に基づく割合	実績値(b)	38.2	-	-	-
		達成(進捗)率(b)/(a)	-	-	-	-
		達成度	-	N	-	-
目標値の設定根拠	◇経年の健康診査受診率の伸びを考慮し、平成22年度を目標(70%以上)に設定しているもの。 ◇宮城県がん対策推進計画の策定により、取組を強化していくことから目標値の変更を行った。					
実績値の分析	「みやぎ21健康プラン」は目標年度(平成22年度)における達成状況を調査し評価することとしているため、各年度毎の実績値は把握できない。					
全国平均値や近隣他県等との比較	全国では、受診者数を目標指標としているため、比較が困難である。					



目標指標等名(下段:説明)		評価対象年度	初期値	H19	H20	H21
2-5	がん検診受診率(乳がん)(単位:%)	指標測定年度	H17	H18	H19	H20
		目標値(a)	-	-	-	-
	「県民健康・栄養調査」の結果に基づく割合	実績値(b)	37.0	-	-	-
		達成(進捗)率(b)/(a)	-	-	-	-
		達成度	-	N	-	-
目標値の設定根拠	◇経年の健康診査受診率の伸びを考慮し、平成22年度を目標(70%以上)に設定しているもの。 ◇宮城県がん対策推進計画の策定により、取組を強化していくことから目標値の変更を行った。					
実績値の分析	「みやぎ21健康プラン」は目標年度(平成22年度)における達成状況を調査し評価することとしているため、各年度毎の実績値は把握できない。					
全国平均値や近隣他県等との比較	全国では、受診者数を目標指標としているため、比較が困難である。					



目標指標等名(下段:説明)		評価対象年度	初期値	H19	H20	H21
3	3歳児の一人平均むし歯数(単位:本)	指標測定年度	H17	H18	H19	H20
		目標値(a)	-	1.7	1.5	1.2
	3歳児歯科健康診査の実施状況(政令市を含む)に基づく本数(厚生労働省調べ)	実績値(b)	1.93	1.78	-	-
		達成(進捗)率(b)/(a)	-	96%	-	-
		達成度	-	B	-	-
目標値の設定根拠	本県の3歳児の一人平均むし歯数は、全国的にも非常に悪いことから、フッ化物塗布や歯科健康教育の強化を図ることなどにより、平成22年度における全国平均並みに減少させることを目標に、みやぎ21健康プランにおける目標値として、平成22年度までに3歳児の一人平均むし歯数を1本以下にすることに設定した。					
実績値の分析	各種歯科保健施策を講じてきた結果、着実にむし歯本数が減少し、目標値に近づきつつある。					
全国平均値や近隣他県等との比較	平成18年度における全国平均値は1.06本であり、東北6県の平均値は1.79本となっている。全国平均と比べると、最低水準にある。					



施策評価(総括)

施策の成果(進捗状況)	評価	評価の理由
・目標指標等、県民意識調査結果、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたか(「目標とする宮城の姿」に近づいているか)。	やや遅れている	国の医療制度改革の動向を踏まえ、県の健康増進計画である「みやぎ21健康プラン」の改定や、がん対策基本法に基づく「宮城県がん対策推進計画」を策定するなど、「生涯を豊かに暮らすための健康づくり」に向けての体制整備を着実にいった。しかしながら、県民意識調査結果を見ると、重視度(重視の割合77.5%)と満足度(満足割合42.7%)とに乖離があり、目標指標から見た達成度は、「B」ないし「C」であることから、総合評価としては、「やや遅れている」と判断する。

施策の課題等と対応方針

①事業構成について	事業構成の方向性	方向性の理由
・施策評価の結果、県民意識調査結果、社会経済情勢及び事業の分析結果(必要性・有効性・効率性)から見て、施策の目的を達成するために必要な事業が設定されているか。事業構成を見直す必要はないか。	現在のまま継続	・県民意識調査の結果、重視度が高く、この施策に対する県民の期待の高さがうかがえる。 ・事業の分析の結果、何れの事業も必要性は妥当であり、有効性は全体としてある程度の成果があり、事業の方向性についても基本的には現在のまま継続と判断する。

②施策を推進する上での課題等 ※施策が直面する課題や改善が必要な事項等(①の事業構成に関する事項を除く。)

・県民意識調査の結果は、満足度については、「満足」の割合が「やや不満」を含めた「不満」の割合を上回っているが、「わからない」と回答した割合が29.0%であり、事業の認知度が低いと考えられる。特に、「みやぎ21健康プラン」は、県民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むための行動指針となる計画であることから、事業の周知を今まで以上に進める必要がある。

③次年度の対応方針 ※①及び②への対応方針

・「みやぎ21健康プラン」関連事業は、県民の健康管理への自覚の向上を図るため、普及啓発について効果的な事業展開を工夫する。
・新インフルエンザ対策事業では、感染拡大防止を図るため、図上訓練や研修会を実施する。

施策を構成する事業の状況

(事業分析シートより)

事業の状況						事業の分析結果			次年度の方向性	
番号	名称 (担当部局・課室名)	県事業費 (決算見込、 単位:千円)	活動の状況 (活動指標)		成果の状況 (成果指標)	①必要性	②有効性	③効率性		
1	みやぎ21健康プラン推進事業 保健福祉部・健康推進課	10,933	運動指導者 育成研修受 講者数	140人	県・市町村 が実施する 運動指導を 受けた人数	17,740人	妥当	ある程度成果 があった	概ね効率的	維持
2	メタボリックシンドローム 対策戦略事業 保健福祉部・健康推進課	5,000	保健指導従 事者研修受 講者数	860人	「メタボナビ」 のアクセス件 数	6,547件	妥当	ある程度成果 があった	概ね効率的	維持
3	がん対策総合推進事業 (再掲) 保健福祉部・疾病・感染症対策室	23,544	相談支援セ ンターの相 談延件数	9,542件	放射線療法等 が実施できる がん診療連携 拠点病院数	7箇所	妥当	成果があった	概ね効率的	拡充
4	みやぎの食育推進戦略 事業 保健福祉部・健康推進課	3,596	みやぎ食育 コーディネ ーター養成 講座開催	4回	受講修了者 数累計	55人	妥当	成果があった	概ね効率的	維持
5	食育・地産地消推進事 業(再掲) 農林水産部・食産業振興課	3,688	食育推進ボ ランティア育 成研修開催 回数	12回	食育推進ボ ランティアの 登録者数	176人	妥当	成果があった	概ね効率的	維持
6	感染症危機管理等対策 事業 保健福祉部・疾病・感染症対策室	64,978	肝炎治療実 施医療機関 の数	41機関	肝炎治療実 施医療機関 における治 療実施者数	—	妥当	成果があった	効率的	拡充
7	新型インフルエンザ対 策事業 保健福祉部・疾病・感染症対策室	235,213	研修会・訓 練実施回数	6回	研修会・訓 練参加者数	437人	妥当	成果があった	概ね効率的	拡充
8	心の健康づくり推進事 業 保健福祉部・障害福祉課	4,587	相談支援者 数	3,436人	自殺者数	603人	妥当	成果があった	概ね効率的	維持

9-1	健康教育推進事業(性教育推進事業)(再掲) 教育庁・スポーツ健康課	243	派遣学校数	14校	指導者派遣支援事業参加者	2,151人	妥当	ある程度成果があった	効率的	維持
9-2	健康教育推進事業(学校保健研修事業)(再掲) 教育庁・スポーツ健康課	430	参加者数	394人	研修会等参加者の満足した人の割合	—	妥当	ある程度成果があった	効率的	維持
10	歯科保健対策総合強化事業 保健福祉部・健康推進課	7,588	乳幼児フッ化塗布モデル事業実施市町村数	1市町村	フッ化物塗布実施市町村数	20市町村	妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持
事業費合計		359,800								